

患者の皆様へ

2018 年 12 月 3 日

千葉大学医学部附属病院 肝胆膵外科

現在、肝胆膵外科では、「肝胆膵領域術後出血に対する **Interventional Radiology** の治療成績向上に向けた出血リスク因子、短期、長期予後予測因子に関する後ろ向き研究」に関する研究を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では 2002 年 1 月から 2018 年 11 月までに当院で手術を行った患者様の診療情報などを利用させていただきます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名 「肝胆膵領域術後出血に対する **Interventional Radiology** の治療成績向上に向けた出血リスク因子、短期、長期予後予測因子に関する後ろ向き研究」

2. 研究の意義・目的 肝胆膵領域手術後の出血のリスク因子、治療の成否に係る項目やは何であるかを、これまで当院にて手術・治療をされた患者さんの情報より解明します。これにより、術後出血の予防、出血した際の迅速かつ確実な治療方法を解明し、将来の患者さんの治療成績をより向上させることに応用します。

3. 研究の方法 2002 年 1 月から 2018 年 11 月までに当院において肝胆膵領域疾患に対して手術を行った患者様の手術方法、手術後の合併症（特に術後出血）、合併症に対する治療とその成否などを調べ、それぞれの治療法、関連項目別に短期的、長期的に患者様の治療経過にどのような影響があったかを調べます。

4. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、匿名化して管理し外部に洩れることのないように厳重に

管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等は、千葉大学大学院医学研究院臓器制御外科学教室の鍵のかかる部屋に置かれたコンピューター内にパスワードを書けて保管します。

5. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて掲示を行っています。

研究実施機関 ： 千葉大学医学部附属病院 肝胆膵外科

本件のお問合せ先： 千葉大学医学部附属病院 肝胆膵外科

千葉大学大学院医学研究院 臓器制御外科学

医師 大塚将之、酒井望

0 4 3 （ 2 2 2 ） 7 1 7 1 内線 5282 (臓器制御外科学 医局)